

個人視察報告書

視察報告議員 馬見塚 剛

【視察期間】 令和 6 年 5 月 28 日（火）～30 日（木）

【視察地】 神奈川県藤沢市

【視察日時】 5 月 28 日（火）

【調査項目】「スクールロイヤー」について

【調査概要及び所感】

藤沢市の「スクールロイヤー」の視察では、藤沢市は教育委員会に弁護士資格をもつ職員 2020 年から配置しており、子どもの最善の利益のため、学校で起こる様々な事案に対し法的根拠をもって中立的な立場で指導、助言を行い、問題の未然防止、早期発見、早期対応を図っている。

藤沢市に取り組み状況は、学校からの事案等の相談については、原則、12 名の学校担当指導主事が概要を把握し、その内容に応じ、スクールロイヤーに相談・対応するシステムが確立されており、いじめ重大事態に係る対応や調査報告書の作成などもルール化されていた。また、年 2 回、いじめ対策の研修も実施されていた。

約 3 年半が経過し成果として、学校の組織としての対応力の向上、教職員の精神的負担軽減などが考えられる。本市においても参考となる視察となった。

【視察地】 秋田県秋田市

【視察日時】 5 月 29 日（水）

【調査項目】「秋田市高齢者コインバス事業」・「持続可能な公共交通サービス」について

【調査概要及び所感】

秋田市の「秋田市高齢者コインバス事業」の視察は、秋田市では、平成 23 年 10 月に事業を開始し、制度を変更しながら、現在では、利用年齢 65 歳以上、利用料金 100 円、支払については、高齢者コインバス専用 IC カードとなっている。秋田市は、大分市同様に以前は、市が発行する「資格証明書」を提示していたが、令和 4 年 3 月に秋田中央交通株式会社が、IC カードのサービス開始に伴い、IC カード化に切り替えていた。

IC カード導入することにより、乗車人数の正確な把握、市が負担する金額の正当性などの効果が上がっていた。

「持続可能な公共サービス」についても、JR、路線バス事業者、コミュニティバス、タクシー事業者全体で、秋田市内の公共交通網が形成されており、本市の今後の長寿応援バス事業や大分市全体の公共交通の在り方について参考となった。